

ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

発行日 令和5年6月1日

発行者 袖ヶ浦市根形公民館

〒299-0255

袖ヶ浦市下新田 1277

Tel 0438-62-6161

令和5年度、講座がぞくぞくと始まっています！

まずは、「子ども絵画教室」からスタートしました

令和5年度の根形公民館の講座が、5月13日(土)の子ども絵画教室（市内小学校4年～6年）を皮切りに、ぞくぞくとスタートしています。子ども絵画教室は、水彩画を学びながら友達作りと豊かな感性を養うことを目的に、土曜日の午前、年間9回実施しています。市内の公民館で絵画の教室があるのは根形公民館だけです。今年度も市内の小学生からたくさんの申し込みがあり、19名が教室生となりました。講師は小嶋祥子先生で、明るく、元気で、気さくな人柄から、子どもたちにもとても慕われています。



今年度の教室の様子

「成人絵画教室」もスタートしました

5月20日(土)、成人絵画教室が教室生18名でスタートしました。成人絵画教室は、静物画や風景写生など、毎回違うテーマを取り上げて水彩画や油絵の基本的な知識・技術を習得することを目的に、土曜日の午前、年間10回実施しています。また、講座生相互の交流と今後の自主的な活動へのきっかけづくりを行うとともに、学習の成果として根形公民館まつりとサークル作品展に作品を出展しています。講師は伊藤景子先生で、多彩な技術と知識、豊富な経験から、毎回、楽しく教室生を絵画の世界に引き込んでくれます。



今年度の教室の様子

「サークル作品展」を開催しました！

令和4年度第17回根形公民館サークル作品展を令和5年3月11日(土)～3月19日(日)の9日間、根形公民館の多目的ホールで開催しました。陶芸(11団体)280作品、絵画(8団体)97作品、書道(2団体)21作品、生け花(1団体)12作品、合計22団体から410の作品が会場内いっばいに展示されました。会期中は多くの方が来観し、昨年度を129名上回る590名(市内472名、市外118名)が訪れました。

来観者からは「作品展に出すために日々、努力されているのが感じられ、楽しませていただくとともに、感心しました。」「とても素敵な空間でした。今はまだ子育てなどで忙しいですが、落ち着いたら私も何かしたいと思いました。」「去年より充実した内容に感じられました。子どもたちの絵も自由で素敵な表現がされてよかったです。」など、賞賛や励ましの言葉を多くいただきました。ありがとうございました。



令和5年の二十歳から根形中学校へ記念品を贈りました



令和5年2月14日(火)、令和5年の二十歳を代表して武田海飛さんと高橋圭さんが根形中学校を訪問し、根形中学校の生徒会の皆さんへ、デジタルカメラ1台を贈呈しました。

令和5年の二十歳を祝う会で、新成人代表実行委員を努めた武田さんと高橋さんは、現在夢の実現に向け、勉学に励んでいます。今後のご活躍を大いに期待しています。

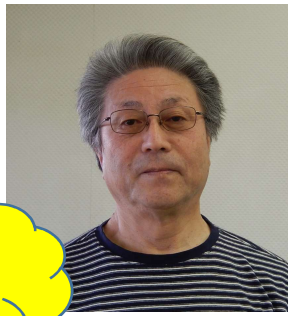
新しい職員・社会教育推進員・管理人をご紹介します

4月から根形公民館の職員、社会教育推進員、管理人の各1名が新たになりました。



館長
加藤 宏明

大田知司館長の後任です。
高須在住です。花まる絵画
教室、地域再発見講座を担
当します。



社会教育推進員
植木 幸裕 さん

のぞみ野在住です。
地域再発見講座と地域
人材育成講座を担当し
ます。



管理人
錦織 雅弘 さん

のぞみ野在住です。
趣味はウォーキング。
毎日10km歩くことを
目標にしています。

よろしく
お願いします！

根っ子の会総会・研修会を開催しました

青少年育成袖ヶ浦市根形地区住民会議、いわゆる「根っ子の会」の総会及び研修会が、5月21日（日）根形公民館視聴覚室で開催されました。

根っ子の会は、学校・家庭・地域の連携を深めて地域の子どもたちの健全育成を目的として活動しています。具体的な年間の活動は、夏の「根形わくドキ体験」、夏・冬の愛のパトロール、青少年健全育成標語看板設置など、根形の子どもたちの健やかな成長を支える活動をしています。今年度は稲葉昌弘会長、他95名のメンバーが登録されています。

総会後の研修会では、根形駐在所の倉持警部補から県内や市内、根形地区で起こっている事故や窃盗、特殊詐欺等の情報提供や被害対策等について、講話をいただきました。

子どもたちの成長を支えていただきありがとうございます

今年も絶対やります！ ねがたオープンキャンパス （ねこまろ）

今年度の開催予定日をお知らせします。「通常版」は7月31日（月）と8月1日（火）の2日間、「特別版」は8月19日（土）と20日（日）の2日間です。

大学生や社会人を中心とした若者のグループ（N.O.C）のメンバーが、根形地区の子どもたちに楽しんでもらいたいと色々なアイデアを出し合い、現在企画中です。乞うご期待ください。



昨年度のねこまろ

根形公民館図書室を、ご利用ください！



水・金・日は、
脇屋さんがお待
ちしています！

根形公民館図書室は、令和3年度から原則水曜日・金曜日・日曜日の3日間を1人の司書（脇屋さん）が管理しています。司書のいない火曜日・木曜日・土曜日は公民館職員や管理人が、貸出業務や返却業務、予約・リクエストカードの受け取りを代行していますので、公民館窓口にお声掛けください。袖ヶ浦市では、0歳の赤ちゃんでも利用券を作ることができます。また、「ふれあい読書コーナー」は、現在利用可能となっています。小さなお子さん連れの保護者の皆さん、本を広げながらゆっくりとお過ごしいただけます。是非ご利用ください。

新シリーズが
スタートしました！

古墳のはなし① —古墳のはじまりは卑弥呼から？—

ひみこ

郷土博物館 西原崇浩

皆さんはご存知ないかもしれませんが、根形公民館は古墳の上に建設されています。と言いますのは、35年以上前の話になりますが、公民館を建設する際に発掘調査を行ったところ、古墳時代の住居のほか、15m程度の2つの円形の古墳の跡が発見されたからです。

このように根形公民館は、根形台にある遺跡や古墳の上に建設されていますが、今年度の『ねがたびと』では、さきほどご紹介した古墳について、触れてみたいと思います。

多くの方は、古墳とは「古代の豪族のお墓」と思い描くかもしれませんが。公民館から見つかった古墳は、現在の下新田周辺地域の有力者のお墓だったかもしれません。

そもそも古墳は、いつ頃からつくられたのでしょうか。

考古学者の多くは、最古の古墳を奈良県桜井市にある全長 280mの前方後円墳の箸墓古墳とし、その時期を西暦250年ぐらいと考えています。そして箸墓古墳に埋葬された人物をあの古代史上で有名な「卑弥呼」と考える考古学者も決して少なくはありません。

卑弥呼は、邪馬台国を治めていた女王ということが中国の歴史書『魏志倭人伝』に記されています。そして、247年頃に亡くなったこと、「径百余歩」もある大きなお墓(現在の大きさでは150mぐらいか)をつくったことも記されており、この学説は、そのお墓こそが箸墓古墳の可能性のあることになります。本当に卑弥呼の墓であるとすると、考古学のロマンを駆り立てられます。



空から見た箸墓古墳

そして、卑弥呼の墓から全国へ古墳が広がります。前方後円墳をはじめ、様々な古墳が造られますが、関東一体では、700年ぐらいまで古墳がつくられます。古墳がつくられた間の約450年間を古墳時代と言っています。

下の表を見ると、古墳時代と飛鳥・白鳳時代が重なっていますが、この頃は聖徳太子や大化の改新で有名な蘇我氏や中大兄皇子が活躍していた時代でもあります。歴史的な事象として時代を区分した時には、飛鳥・白鳳時代と呼びますが、考古学的な観点からみると、古墳がつくられる古墳時代として分類します。

古墳時代と聖徳太子、結び付きませんよね。

